

§6 貿易決済の方法と貿易保険

(1) L/C (信用状) 決済とリスク

(2) D/P・D/A 決済とリスク

(3) 電信送金 (T/T) とリスク

(1) L/C (信用状) 決済とリスク



(1) L/C (信用状) 決済とリスク

L/C (信用状) 決済の特徴

- ・ L/C (信用状) が一旦開設されると、開設銀行は有効期限内に、勝手に撤回することができない。
- ・ 輸出者が信用状に書いてある通りの書類を銀行に提出した場合、開設銀行は輸出代金を支払わなければならない。



輸出者のために、輸入者の与信リスクを負担してくれる

(1) L/C (信用状) 決済とリスク

L/C 開設銀行破綻リスク

- ・ 信頼できる銀行でL/Cを開設する。
- ・ 日本貿易保険 (NEXI) の輸出手形保険を付保する。

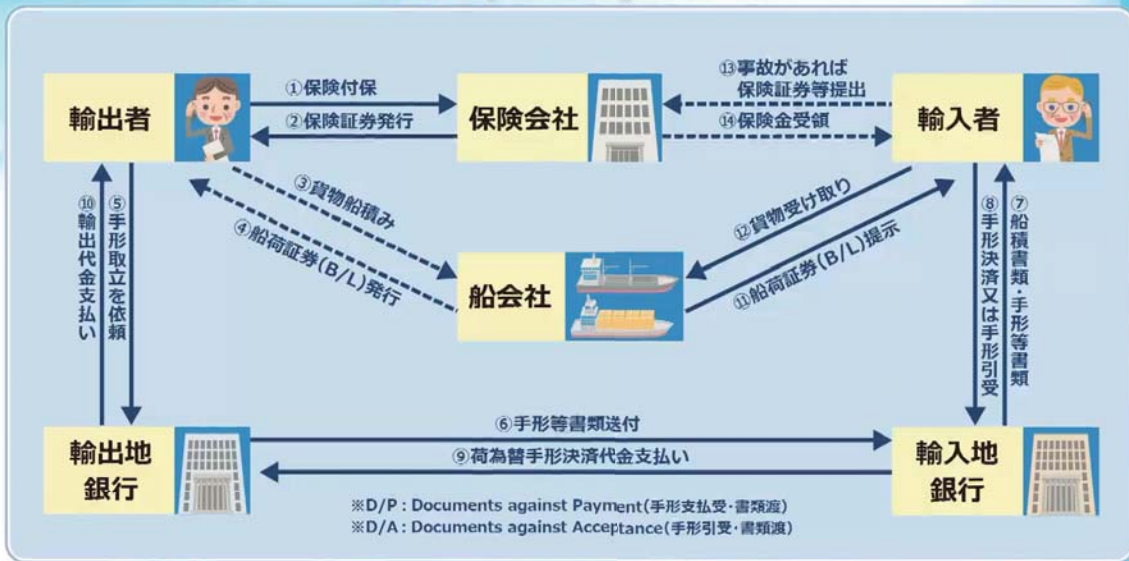
L/C ディスクレ (Discrepancy) リスク

- ・ ディスクレ (不一致) を起こさない正確なドキュメンテーション。
- ・ ディスクレ (不一致) が起きる内容のL/Cであれば、アmend (修正) させる。

船積有効期限切れのリスク/ 買取書類の提示期限切れ (Stale B/L)

- ・ L/Cをアmend (修正) させる。

(2)D/PとD/A決済



(2) D/P・D/A決済とリスク

D/P決済のリスク

- ・ 輸入業者の支払拒絶 (貨物を積み戻すか、現地で処分で処分することに)
- ・ 輸入業者の倒産

D/A決済のリスク

- ・ 輸入業者の代金不払い
- ・ 輸入業者の倒産

(2) D/P・D/A決済とリスク

リスクを回避するためには？

- ・ 日本貿易保険 (NEXI) 中小企業輸出代金保険を付保する。
民間損保会社の取引信用保険を付保する。
- ・ 国際ファクタリング会社を利用する。
- ・ スタนด์バイL/C (Standby L/C) を開設する。



(3) 電信送金 (T/T) とリスク

生産 (調達) 手配前送金受領のリスク

- ・ 送金があつてから生産 (調達) 手配を行うため、契約破棄のリスクがない。

生産 (調達) 後の送金受領のリスク

- ・ 入金タイミング次第で、契約破棄リスクがある。

出荷後送金のリスク

- ・ 代金支払いがなされていないのにB/Lが輸入側に渡ってしまった場合、輸入側が代金支払いに応じてこなくても取りに行く方法はない。

○×クイズ

決済方法について正しいものは？

- ・ 貿易決済は、L/C（信用状）決済、D/P・D/A決済が基本。
※送金もあるが注意が必要。
- ・ D/A決済、出荷後送金の場合、輸入者は代金を支払う前に貨物を引き取ることが出来る
※輸入者の代金不支払いのリスクに備えて、必ず保険等でリスクヘッジする。
- × ・ L/C決済では、貨物の品質問題や船積み遅れ等のクレームが起きた場合、クレーム交渉が妥結するまで代金は決済されない。
※L/C決済は貨物の取引から独立した金融取引のため、クレームとは無関係に決済される。